

平成27年 第3回教育委員会会議録

1 日 時

平成27年3月6日(金)

開会 10時00分

閉会 11時00分

2 場 所

教育委員会室

3 出席した委員

金田清委員長、横山真紀委員、橋正徹委員、眞鍋知子委員、木下公司教育長

4 説明のため出席した職員

青木哲雄教育次長、平島敏彦教育次長、齊田正活教育次長、金戸清外志教育次長兼庶務課長、表純一教育次長兼教員指導力向上推進室長、竹中功教育次長兼学校指導課長、宮崎栄治教職員課長、坂井芳子生涯学習課長、柴田政秋文化財課長、森山喜博スポーツ健康課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第7号 指導が不適切である教諭等の認定等について (原案可決)

議案第8号 人事異動について (原案可決)

議案第9号 教職員の人事について (原案可決)

6 報告案件

- ・ 第70回国民体育大会冬季大会における本県選手団の成績について

7 審議の概要

・開会宣告

金田委員長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第7号から議案第9号は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項に基づき非公開とすることを、全会一致で決定。

・質疑要旨

報告事項 第70回国民体育大会冬季大会における本県選手団の成績について
(森山スポーツ健康課長説明)

資料1頁をご覧ください。

国体冬季大会につきましては、スケート・アイスホッケー競技会が1月28日から、また、スキー競技会は2月20日から、いずれも群馬県で行われました。

1の総合成績につきましては、天皇杯得点は52点で、順位は25位でありました。

2の入賞者につきましては、スキー競技の少年男子ジャイアントスラロームで森田選手が2位、成年女子ジャイアントスラロームで石川選手と成年男子クロスカンントリーの加藤選手が共に昨年に続き、4位の上位入賞を果たすなど5つの入賞がありました。

今後とも、県体育協会や競技団体とより一層連携を密にし、秋の「紀の国わかやま国体」に向けて、競技力向上に努めてまいりたいと考えております。

以上で説明を終わります。

【質疑】

(金田委員長)

天皇杯は去年から見ると、マイナス11点でスタートしたことになるのか。

(森山スポーツ健康課長)

そうです。

(金田委員長)

是非、和歌山では頑張っていたきたいですね。

(橋正委員)

オリンピック等に向けて、去年からいろいろと支援策の話が出ていますが、冬季大会ではどのような支援をされているのでしょうか。

(森山スポーツ健康課長)

スキーの方ではオリンピックの候補はいませんが、国体強化と言うことで協会費の配分をしておりますし、高校の方へも強化費等々での支援を行っております。

(金田委員長)

石川県は雪があるが南限に近い方だから、選手も大変ですね。

(橋正委員)

今回の順位はだいたいこのようなものですか。想定範囲と言うところですか。

(森山スポーツ健康課長)

はい、だいたい20位くらいです。

(金田委員長)

国体ですから年齢的には20歳以上の方もおられますが、やはり選手を強化する意味では中高も含めて頑張っていたきたいと思います。

(金田委員長)

以降の審議については、非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

(金田委員長)

人事担当教育次長以外の教育次長と、庶務課長及び教職員課長以外の課長の退出を促す。

議案第7号 指導が不適切である教諭等の認定等について (非公開)

宮崎教職員課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第8号 人事異動について (非公開)

宮崎教職員課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第9号 教職員の人事について

宮崎教職員課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・閉会宣言

金田委員長が、閉会を告げる。